

ガストース導入後の

費用対効果 I

～製品不良改善効果～

お客様での効果事例①

ガストース導入目的：ガス焼け対策

製品：ガス管継手

成形品情報：①300t成形機 ②2プレート ③樹脂・PE ④取り数・1/1 ⑤350ショット/1日

⑥1回の生産日数7日間(2,500個) ⑦材料単価(a) ⑧1ショット重量(b) ⑨検査時間(d)

⑩時間工数(e)

ガストース導入内容：PMSA10.0-234.00-0.03 1本 設置個所：スプルー直下

PMSA10.0-234.00-0.01 5本 設置個所：製品部

ガストース購入費用：合計¥152,375.- (ランナーエンド用に本数割引適用)

製品単価：(A)円

ガストース導入前・導入後の比較

導入前

ガス焼け不良

不良率2%

導入後

不良率0%

費用対効果計算

- ・製品損失：(A) × 7個 = **¥7A.-**円/1日
- ・材料損失：材料単価(a) ÷ 1,000 × 1ショット重量(b) = (c)円
(c)円 × 7個 = **(c7)**円/1日
- ・検査費用：(d)時間 × 時間工数(e)円 = **(CE)**円
- ・合計：**¥7A.- + (c7) + (CE) = 1日の損失額**

まとめ

お客様より⑦～⑩及び製品単価の情報を頂けなかったため、正確な費用算出は出来ていないが、例えば⑦500.- ⑧50g ⑨2h ⑩2,000.-及び、製品単価@100.-とした場合は下図のようになり、購入費消却後は全て利益となる。自社の製品にあてはめて計算してみてください。何日で利益に繋がりますか。

